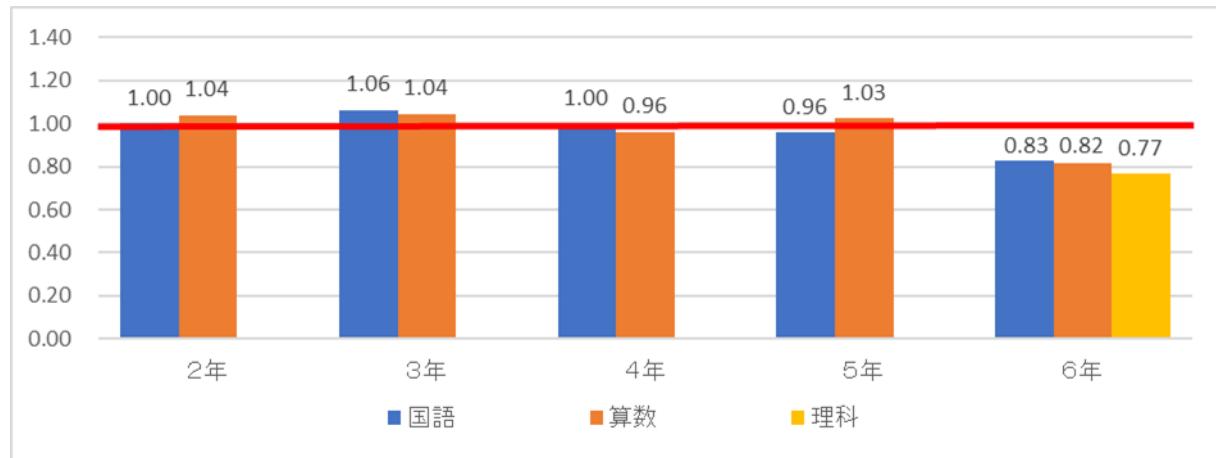


令和7年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第九中学校区 啓明小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習 到達度調査	国語	全学年で「書くこと」に高い結果がみられた。一方、「読むこと」に課題が見られ、教科横断的に課題を克服する学習場面に取り組んでいく。
	算数	系統的に授業改善を行い、全国平均と同等の結果であった。図形領域、加えて高学年での伸び率には課題がある。確実な基礎学力の向上、また問題解決学習による思考力の強化を図る。
全国学力・ 学習状況調査	国語	「書くこと」や知識・技能については高い結果が出ており、「情報の扱いに関する事項」では全国平均を上回っている。一方、「読むこと」「書くこと」では課題が見られた。文章や図表をつなげて思考する等、教科横断的に国語力を活用する学習場面を設定し、取り組んでいく。
	算数	「数と計算」領域では全国平均を上回っていた。一方、「図形」「データ活用」の領域では課題が見られた。グラフや表の正確な読み取りや、図形に関しては、作図を通してそれぞれの性質の理解を深めていく。
	理科	基礎的な事項や現象の捉え方に課題が見られた。一方、顕微鏡の使い方に関して高い結果になっており、自ら何度も体験したことが効果的だったと考えられる。理科用語の定着をはじめ、実験や観察を通じて基礎的な学びから深い学びを目指していく。
	質問紙	自己肯定感については肯定的回答が全国平均を上回っており、「学校が楽しい」という項目において、肯定的回答を80%からさらに向上するように、引き続き教育活動全体 PBIS（ポジティブ行動支援）に取り組んでいく。

○学力向上の取組

【中学校区】

校区として聞く力・話す力を大切にしてディベート教育、教科教育に取り組むとともに、論理的・客観的・多角的思考を培い、考える力の育成に取り組んでいる。ねやがわスタンダードを基にした小中一貫教育を推進し、児童・生徒の学習習慣の定着を図っている。また児童・生徒の主体性を伸ばすとともに、努力する姿・良いところを認め、自己肯定感の向上を進めている。

【学校】

分析の結果見えてきた課題を学校全体で周知、授業や家庭学習に組み込み、自立した学習者をめざす。また、課題の大きい領域についてはねやがわスタンダードをもとに授業改善を進める。国語「書くこと」領域、知識・技能については定着が見られるので、「読むこと」領域と共に引き続き取り組んでいく。